



公立病院として県内初!

再生可能エネルギー100%電気を茅ヶ崎市立病院に導入

茅ヶ崎市立病院は、県内の公立病院として初めて、使用する電力を再生可能エネルギー100%に切り替えます。市は、2022年7月に切り替えた市内52の公共施設に続き、今回の切り替えにより公共施設全体の電気使用量に占める再生可能エネルギーの使用量は、約72%に達する見込みです。

1 導入時期

2023年4月から

2 年間使用電力量

約 492 万 kWh

※市の施設の電気使用量(約 2,155 万 kWh)
の約23%に相当(2020 年度実績)

3 CO₂削減効果

年間約 2,250 トン-CO₂

※市の施設で使用するエネルギー由来の年間 CO₂ 排出量(約 14,200 トン)の約 16%に相当(2020 年度実績)

4 電力供給事業者

コスモ石油マーケティング株式会社(東京都港区芝浦一丁目1番1号)



※本件は、コスモ石油マーケティング株式会社においてもプレスリリースを行っています
<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/about/press.html>



茅ヶ崎市立病院

5 市長コメント

市は、2021年4月に寒川町と「気候非常事態宣言」を共同表明し、2050年カーボンニュートラルの実現を目指して、地球温暖化対策の取り組みを進めています。

市立病院は施設の特性上、エネルギー使用量の最も多い施設ですが、このたび、環境に配慮した再生可能エネルギー電力に切り替える運びとなりました。

今後も、市は市民・事業者の皆さまと一丸となって、脱炭素社会の実現に向けた様々な取り組みを進めてまいります。